

# 岩手県感染症週報

平成24年第31週(7月30日～8月5日)

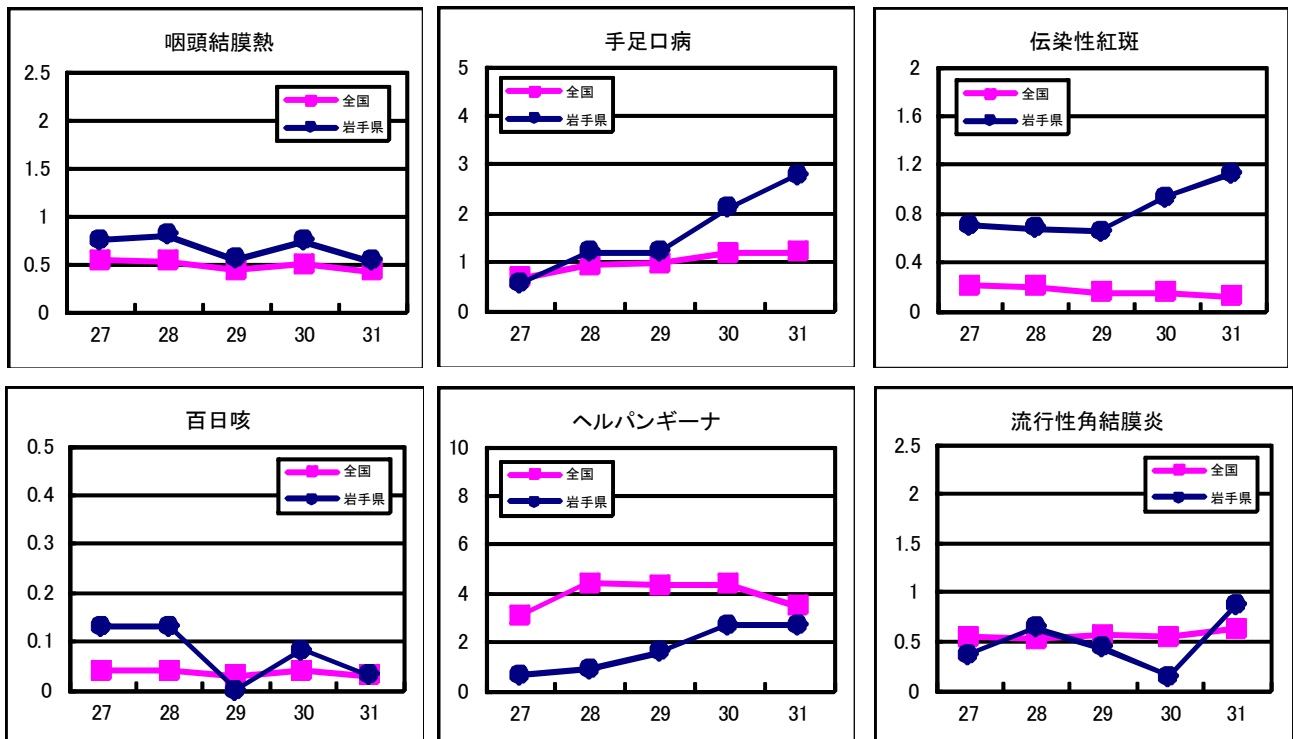
岩手県感染症情報センター

## 第31週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が、5例（潜在性結核感染症 2例）ありました。
- 3 類感染症 ・腸管出血性大腸菌感染症は、盛岡市より6例の報告がありました。
- 4 類感染症 ・つつが虫病の報告が、盛岡市から1例ありました。今年6例目の報告です。
- 5 類感染症（全数把握対象疾患）
  - ・梅毒の報告が、二戸地区から1例ありました。
  - ・風しんは、関東地区や関西地区で患者が増加しており、県内における今後の発生動向に引き続き注意が必要です。
- 5 類感染症（定点把握対象疾患）
  - ・手足口病は、前週に続き増加しました。地区別では中部、釜石および二戸地区で警報値（定点あたり患者数5人）を超えています。本疾患は、通常数日で回復しますが、まれに髄膜炎を起こすことがあるため、頭痛、嘔吐を併発した場合は、早期の受診が必要です。
  - ・ヘルパンギーナは、前週と同数の報告があり、依然流行が続いています。年齢層別では、6歳以下の小児が9割以上を占めています。予防には、外から帰った後、食事の前、トイレの後などに、石けんと流水による手洗いを行うことが大切です。
  - ・伝染性紅斑（りんご病）は、盛岡市、県央および二戸地区で警報値（同2人）を超えています。
  - ・流行性角結膜炎は、宮古地区で増加しました。

## 最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		27	28	29	30	31		
インフルエンザ	岩手県	0.06	0	0	0	0	→	
	全国	0.15	0.22	0.28	0.26	0.23		
RSウイルス感染症	岩手県	0.13	0.33	0.25	0.2	0.43	→	☆
	全国	0.11	0.13	0.13	0.19	0.26		
咽頭結膜熱	岩手県	0.75	0.8	0.55	0.73	0.53	→	☆
	全国	0.54	0.53	0.43	0.49	0.42		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	2.63	2.2	1.28	1.7	1	→	☆
	全国	1.97	1.7	1.21	1.15	0.92		
感染性胃腸炎	岩手県	5.05	4.58	3.65	2.85	2.75	→	☆
	全国	5.2	4.47	3.51	3.39	3.21		
水痘	岩手県	1.08	1.05	1.05	0.48	0.93	→	☆
	全国	1.07	1.09	0.77	0.75	0.59		
手足口病	岩手県	0.55	1.2	1.2	2.1	2.78	↗	☆☆☆
	全国	0.67	0.93	0.97	1.17	1.19		
伝染性紅斑	岩手県	0.7	0.68	0.65	0.93	1.13	↗	☆☆☆
	全国	0.21	0.2	0.15	0.15	0.12		
突発性発疹	岩手県	0.38	0.65	0.6	0.6	0.5	→	☆
	全国	0.66	0.7	0.62	0.69	0.66		
百日咳	岩手県	0.13	0.13	0	0.08	0.03	→	
	全国	0.04	0.04	0.03	0.04	0.03		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.65	0.9	1.58	2.68	2.68	→	☆
	全国	3.06	4.42	4.34	4.35	3.48		
流行性耳下腺炎	岩手県	1.48	1.1	1.13	1.33	1.18	→	☆☆
	全国	0.55	0.56	0.52	0.52	0.45		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.36	0.64	0.43	0.14	0.86	↗	☆
	全国	0.54	0.52	0.56	0.54	0.63		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.02	0.03		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0.05	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.05	0.05	0.07	0.06		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.42	1.32	1.63	1.32	1.68	→	☆
	全国	0.95	0.91	0.84	0.98	0.94		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0.05	→	
	全国	0.04	0.04	0.06	0.07	0.04		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)		岩手県					全国		
疾病名	(週)	岩手県					全国		
	27	28	29	30	31	累計	31	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	
	結核 ( ) 内は潜在性結核感染症患者数	0	5 (1)	6 (1)	11 (4)	5 (2)	184 (92)	351	17182
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	
三類	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	
	コレラ	0	0	0	0	0	0	3	
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	8	121
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	7	6	40	130	1511
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	15
四類 感染症	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	11
	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	2	83
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	117
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	6
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	5
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	3
	つつが虫病	0	0	0	0	1	6	1	193
	デング熱	0	0	0	0	0	0	5	84
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	3	51
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	3	
マラリア	0	0	0	0	0	0	1	40	
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	5	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	2	13	501	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	8	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	岩手県						全国	
		(週) 27	28	29	30	31	累計	31	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	14	506
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	1	2	128
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	1	0	0	0	3	3	241
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	0	0	0	1	2	108
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	2	0	155
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	1	12	807
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	32
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	7
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	1	0	0	0	1	3	13	492
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	60
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	55
	風しん	0	0	0	0	0	0	82	1016
	麻しん	0	0	0	0	0	2	9	210

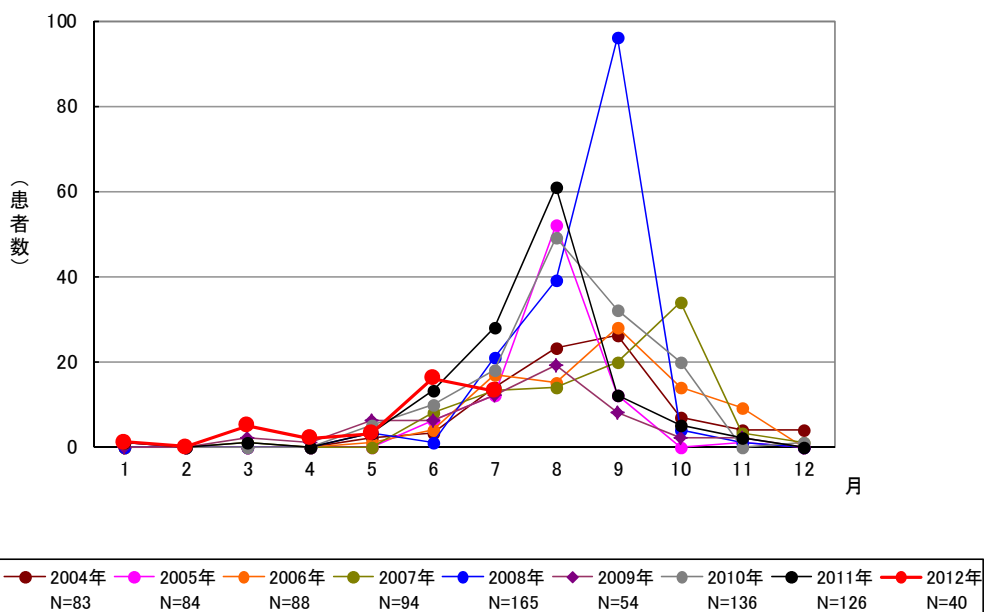
今注目の感染症

腸管出血性大腸菌

腸管出血性大腸菌感染症は、第31週までに40例が報告されています。性別では男性が22例、女性が18例であり、年齢層別では0～9歳が11例、10～19歳が11例、20～59歳が12例、60歳以上が6例となっています。分離された大腸菌の血清群別ではO157が16例、O26が10例、O121が12例、O111が2例となっています。

毎年、夏季に報告が多いので、食肉の十分な加熱処理などにより、食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが重要です。オムツの交換時の手洗い、簡易プールの衛生管理、動物の接触後の十分な手洗いにも注意が必要です。

腸管出血性大腸菌感染症 月別患者数 (岩手県2004年～2012年)



今注目の感染症 (つづき)

風しん

風しんは、発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とするウイルス性発疹症です。一般的には数日で治癒する予後良好な疾患です。妊婦が妊娠初期に感染すると、胎児も感染し、出生児に先天性風しん症候群と総称される障害を起こすことがあります。

風しんは特異的な治療法はないものの、ワクチンで予防可能な感染症で、定期予防接種は、1歳児(第1期)、小学校入学前1年間の幼児(第2期)、中学1年相当・高校3年相当の年代(第3・4期、2008～2012年の5年間のみ)となっており、これら以外の方で接種を希望される場合には医療機関にお問い合わせください。

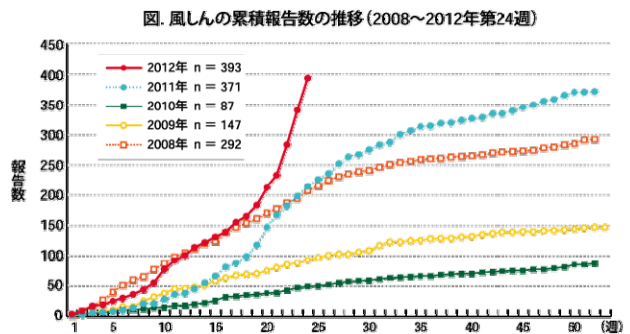
岩手県内における風しんの届出状況(平成20年1月～平成24年7月)

診断日	保健所	性別	年齢	備考
平成23年3月23日	盛岡市	男	21	検査診断例
平成22年12月27日	一関	男	5	臨床診断例
平成20年12月26日	奥州	男	34	検査診断例
平成20年6月17日	中部	男	6	臨床診断例
平成20年6月9日	中部	男	7	臨床診断例

風しんは、平成20年1月から全数把握疾患となり、県内では今年第29週までに5例の報告がありました。

平成20年1月1日から麻疹は、全数把握疾患に変更されました。

図に全国の風しんの発生状況を示しました。今年は、関西、関東で患者が多発しており、第20週から報告数が急増し、第1～24週の累積報告数は393例となっております。この患者数は2008年以降最も報告数が多かった昨年の年間患者数よりも多く、昨年の同時期の累積報告数(214例)の1.8倍です。詳しくは国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。http://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/rubella.html



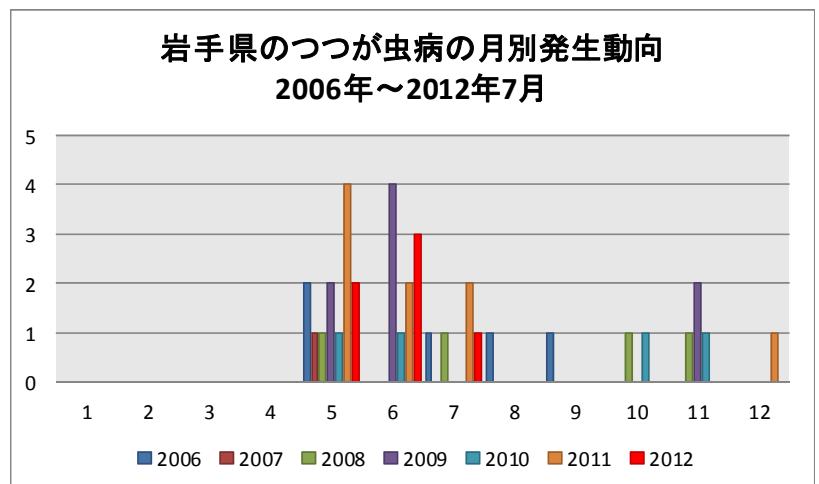
県内では、今年これまでのところ(第29週時点)、患者報告はありませんが、今後の動向に注意が必要です。

IDWRから引用

つつが虫病

つつが虫病リケッチアに感染したツツガムシ(ダニの一種)の幼虫に刺されることにより感染します。岩手県での発生数は初夏と秋の二つのピークがあります。症状は、発熱、リンパ節肥大、発疹などで、刺し口を証明するのが診断のポイントですが、無いこともあります。

農作業や山菜取りの際には肌の露出を少なくし、帰宅後には速やかに入浴やシャワーにより体表を洗い流すことが大切です。また、野外活動後に発熱、発疹、頭痛といった症状があり感染が疑われた場合には早期の受診が勧められます。



## 病原体検出情報

- ・食中毒疑い(回腸末端炎)の患者の便から、エルシニアを1件、アデノウイルス2型を1件分離しました。
- ・流行性耳下腺炎の患者の髄液から、ムンプスウイルスを2件分離しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の便から、サポウイルスG1を1件検出しました。
- ・手足口病の患者の咽頭ぬぐい液からエンテロウイルス71型を2件分離しました。
- ・百日咳の患者の咽頭ぬぐい液から、RSウイルスを1件分離、ライノウイルスを1件、パラインフルエンザウイルス3型を1件検出しました。
- ・細気管支炎の患者の咽頭ぬぐい液から、ライノウイルスを1件検出しました。
- ・ヘルパンギーナの患者の咽頭ぬぐい液から、単純ヘルペスウイルス1型を1件分離しました。
- ・ヘルペス歯肉炎の患者の咽頭ぬぐい液から、単純ヘルペスウイルス1型を1件分離しました。
- ・流行性角結膜炎の患者の結膜ぬぐい液から、アデノウイルス56型を1件、アデノウイルス3型を2件分離しました。
- ・アデノウイルス感染症の患者の便から、アデノウイルス1型を1件検出しました。
- ・不明発疹症の患者の咽頭ぬぐい液、血液および尿から、パルボウイルスB19を1件ずつ検出しました。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者の咽頭ぬぐい液から、A群溶血性レンサ球菌(T12)を3件分離しました。

## 集団感染情報

- ・この週には集団感染情報はありません。

## 医療機関からの情報

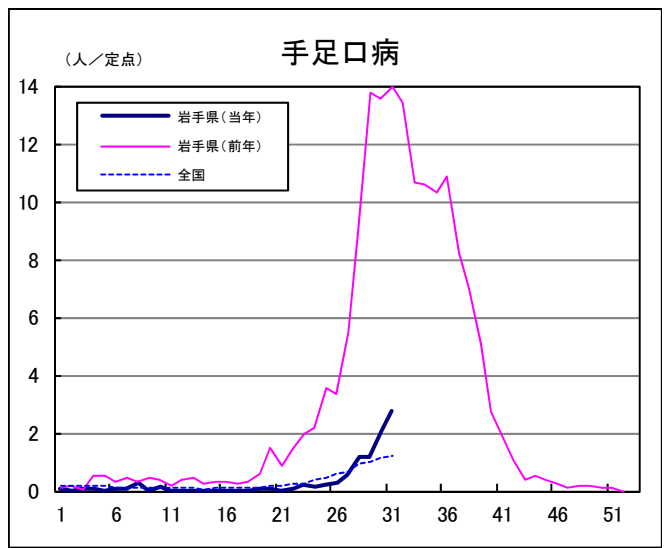
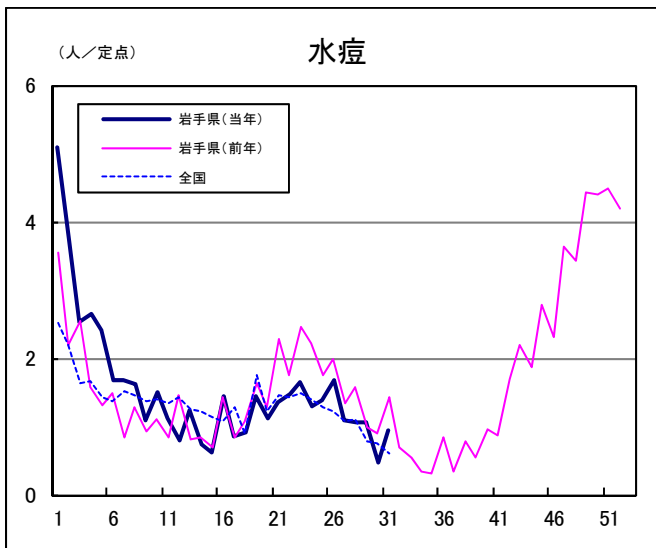
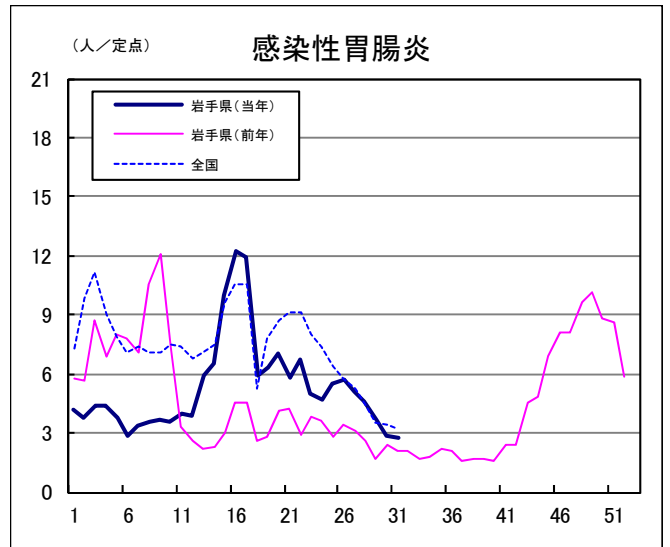
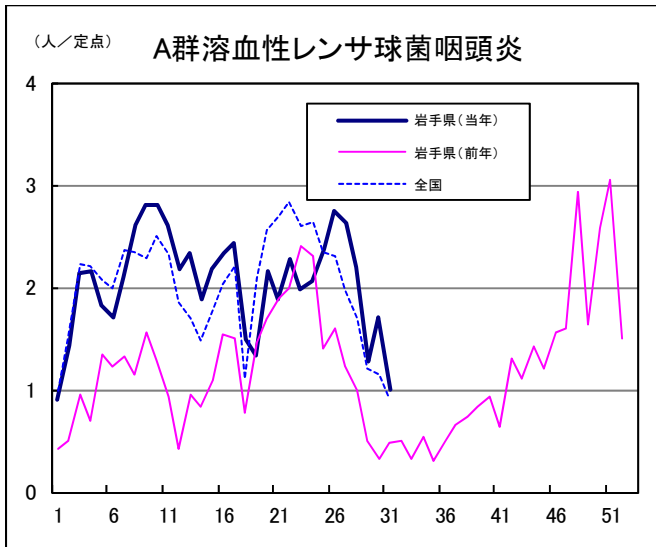
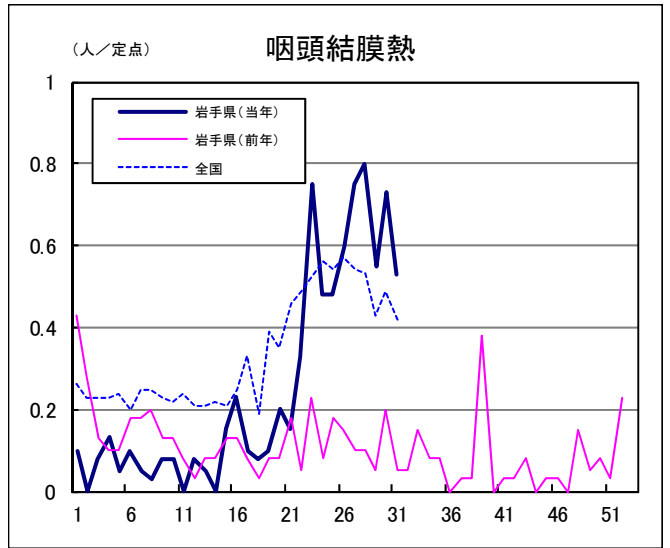
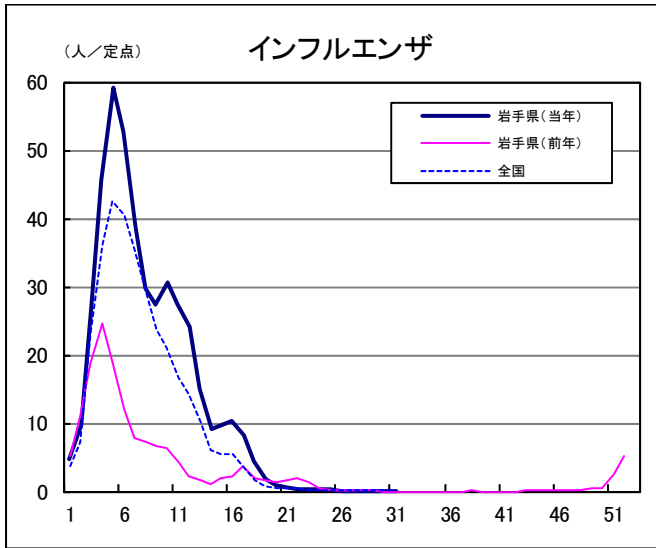
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

## Q & A

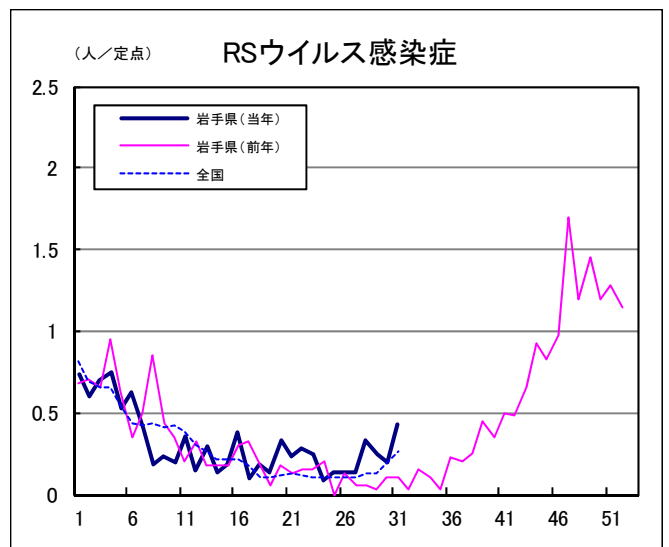
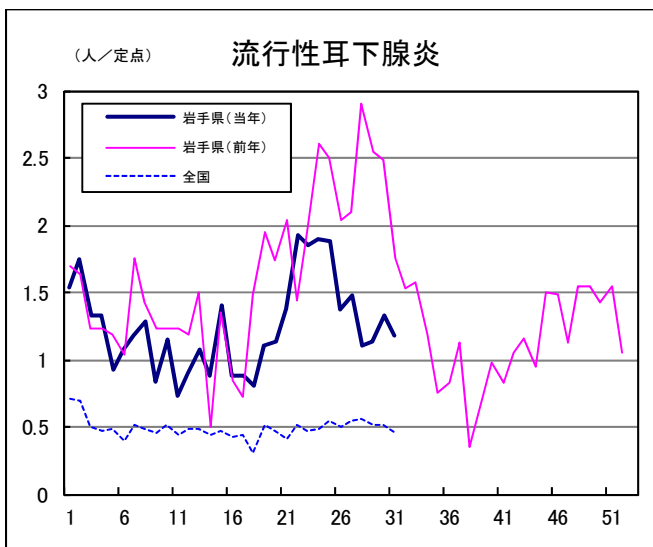
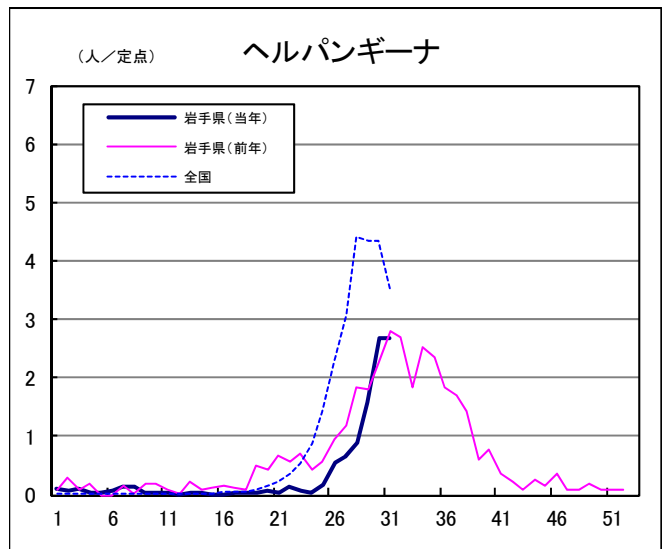
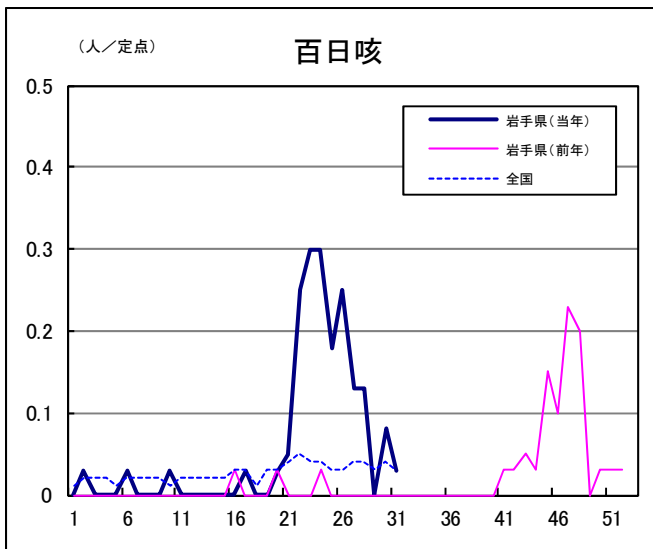
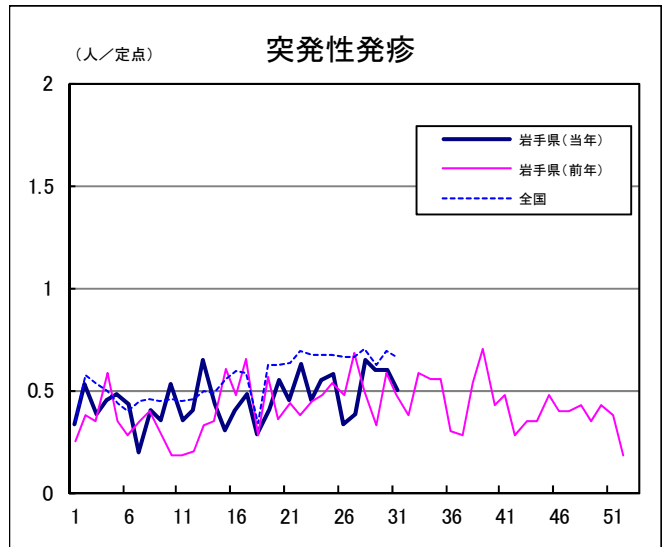
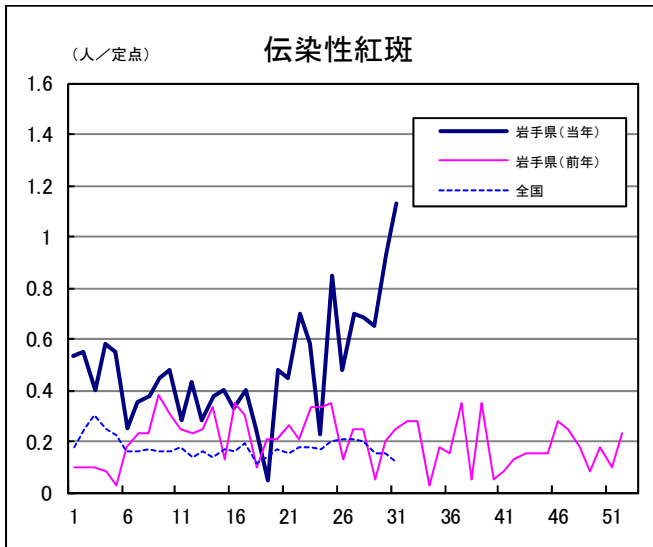
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県感染症情報センター(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)  
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16  
(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)  
TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667  
E-mail:CC0019@pref.iwate.jp

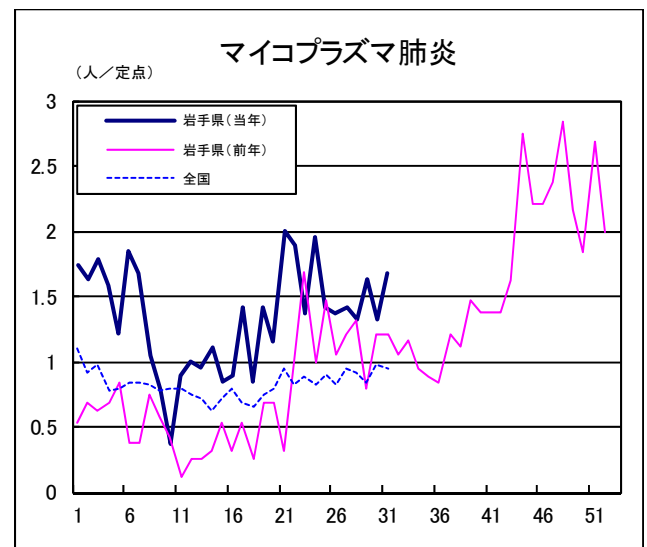
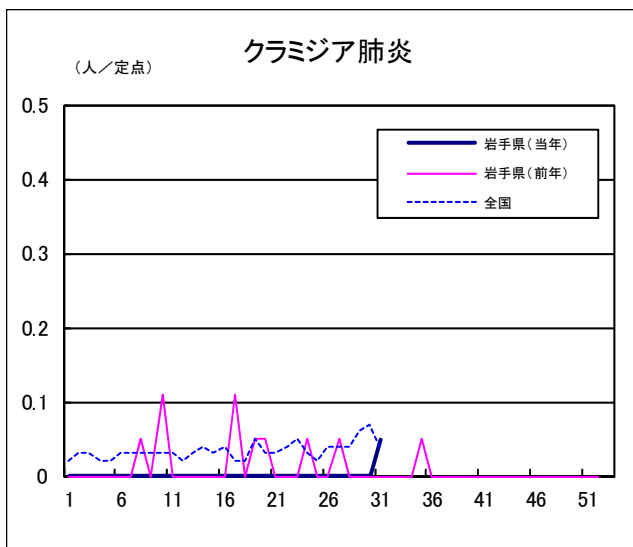
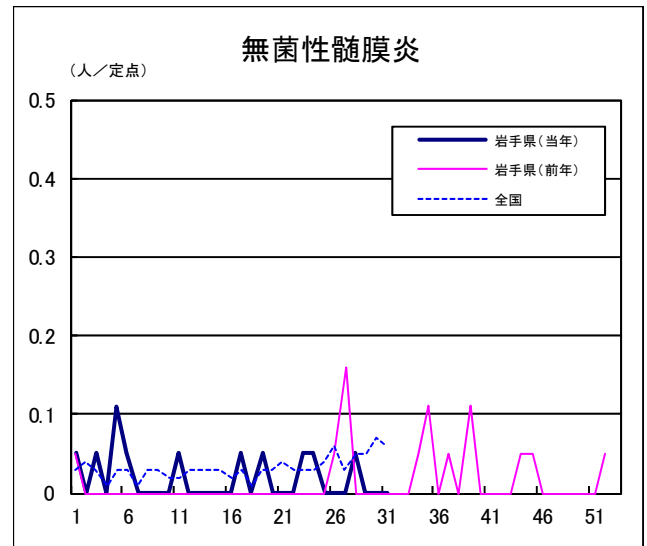
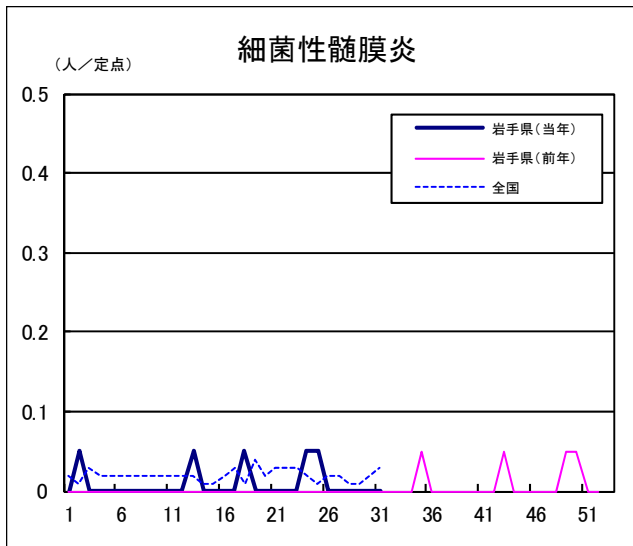
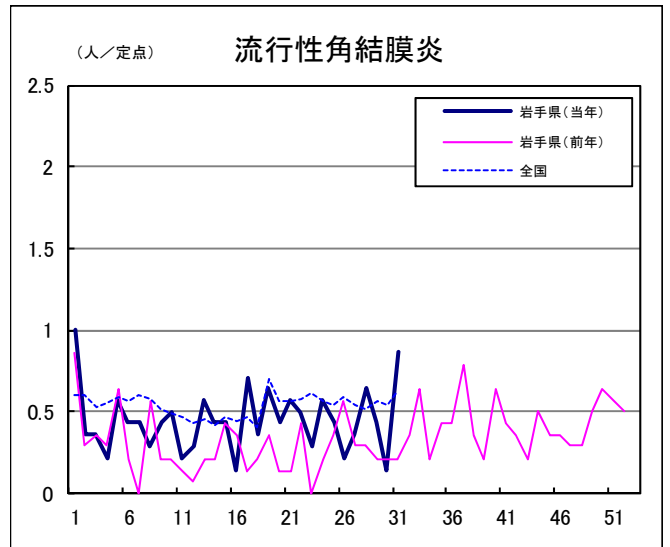
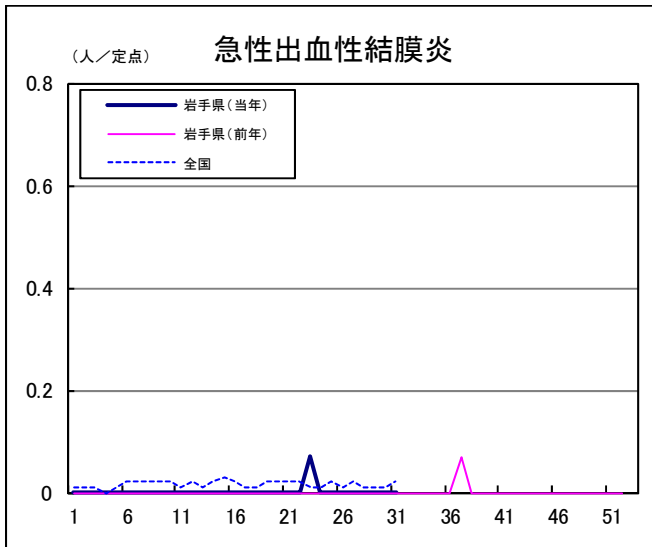
疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)











定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
花巻	7	4	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成24年第31週 平成24年8月10日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター  
岩手県保健福祉部医療推進課

事務局：岩手県感染症情報センター  
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療推進課>